



魅力あふれるふるさとづくりに意欲的に取り組んでいる個人・団体・企業の功績を称える第1回目の高粱ふるさとづくり功労賞の受賞者が決まり、3月16日に市文化交流館で表彰式を行いました。

川面地域まちづくり推進委員会  
史跡保存部会

平成16年に地元有志で「寺山城址保存会」を結成し、現地調査、資料収集、周囲の山林等の整備を始められ、18年からは地域の事業として取り組みため、川面地域まちづくり推進委員会に「史跡保存部

会」を設置。「寺山城跡草刈り大作戦」を実施するなど活動を広め、地域全体で事業に取り組みられています。こうした活動により、平成23年には「寺山城跡」が市重要文化財に指定されました。

本丁商人<sup>あきんど</sup>

本丁商店会(成羽町下原)は、昭和41年から「本丁土曜夜市」を開催し、地域に親しまれ浸透しています。平成14年からは「本丁商人」というロゴを使った活動を展開。商店会員以外も参加して、19年には郷土の伝統芸能である「備中神楽」のオブジェを手作りし、神楽ロードを整備されました。また、現在は観光周遊バスで成羽へ来られるお客さんに、会員がボランティアガイドと



復旧前



復旧後

## 災害で崩落した

# 備中松山城跡の小松山城跡後曲輪石垣復旧工事が完了

小松山城跡から大松山城跡への通路、安全に通行できます。

平成22年7月の豪雨により天守北側にある小松山城跡後曲輪の石垣が、高さ約3<sup>メートル</sup>、幅約5<sup>メートル</sup>にわたり崩落しました。

石垣は、江戸時代前期の城郭改修時に築かれた国史跡のため、平成22年度から元の状態に戻す工事に着手。約2年をかけて、今年3月に工事を完了しました。

また、崩落した石材が小松山城跡から大松山城跡を結ぶ道をふさぎ、来城者の安全を確保するため通行止めにしてきましたが、復旧工事の完了に伴い通行止めも解除しました。

これから暖かくなり、ハイキングや散策などに最適な季節を迎えます。大勢の皆さんのご来城をお待ちしています。

■問い合わせ 社会教育課文化係 ☎②1516

## 第1回 高粱ふるさとづくり功労賞

愛するふるさとと高粱のまちづくりに尽力

## 新規

農業者の負担を軽減します

# 農業用機械等整備事業

【予算2,200万円／農林課☎②0223】

耕作放棄地の増加を防ぐことを目的に、農業への就労意欲の維持、農地の維持管理の継続を図るために農業者の農業用機械整備に対して補助を行います。

【補助対象】(予定)

- ①10a以上の農地を耕作している農家が共同(2戸以上)で市内の農機具等販売店で購入する機械・器具
- ②補助率は、10万円以上(諸経費等を除く)の6分の1以内(補助上限30万円)



# 継続できる農業の推進【その他施策：農業】

耕作放棄地の増加防止と農業への就労意欲維持、高齢者でも栽培しやすい農業を推進します。

## 新規

継続できる農業の推進

# 耕作放棄地遊休農地解消事業

【予算12万円／農林課☎②0223】

高齢者でも栽培しやすく、耕作放棄地になりやすい日当たりの悪い農地を好むフキの栽培を推奨し、市内耕作放棄地の解消と定年帰農者等の収入の増加を図ります。



## 継続

農業と福祉の連携による地域生活支援体制づくり

# 農福連携障害者就労支援モデル事業

【予算40万円／福祉課☎②0265】

障害者の就労先として農業に着目し、就労に向けて障害者が農業技術や知識、経験を積むとともに、地域社会や農業関係者の理解を深めていくことで、農業と福祉の連携の仕組みづくりや地域交流をベースとした地域生活支援体制づくりを目指します。

## 継続

特産品のブランド化

# 農産物ブランド化推進補助

【予算519万円／農林課☎②0223】

市農業振興協議会で特産品の「ぶどう」「しゃくやく」をブランド化し、生産者所得の向上を図ります。農産物による高粱市のPRを行うため、調査・研究・販売試験を行っており、その事業に対し事業費の補助を行います。

## まちのデータ

○高粱市の農地面積 約4,689<sup>ヘクタール</sup>

耕作放棄地(農林課調査データ)

平成20年度 約510<sup>ヘクタール</sup>

平成23年度 約586<sup>ヘクタール</sup>

※市の農地面積の1割を超える面積が耕作放棄地になっており、3年間で約76<sup>ヘクタール</sup>の耕作放棄地が増えています。

## 継続

農業の大切さを知る

# 子ども農業体験応援事業

【予算30万円／農林課☎②0223】

地域の子どもたちに農業の大切さを知ってもらうことを目的とした農業体験事業を行う団体等に対して補助を行います。